

用語集

網掛け部分は、2回審議会参考資料から新たに追記した用語です。

用 語	意 味
あ行	
青色防犯パトロール	大阪府警察本部から認められた、専ら地域の防犯のために、青色回転灯を装備した自動車を使用して行う自主防犯パトロール活動のこと。
ESCO事業	省エネルギー課題に対して包括的なサービスを提供し、実現した省エネルギー効果（導入メリット）の一部を報酬として受け取る事業。
イノベーション	これまでのモノや仕組みに対して新しい技術や考え方を取り入れて、新たな価値を創造することにより、社会的に大きな変化をもたらすヒト・組織・社会の幅広い変革のこと。
インフラ	インフラストラクチャー（社会基盤施設）の略称で、社会的経済基盤と社会的生産基盤を形成するものの名称。道路・橋りょう・上水道・下水道などが含まれる。
ICT	Information & Communication Technology の略称で、情報通信技術のこと。
EV	Electric Vehicle の略称で、電池式電気自動車のこと。車に搭載された電池から電力を得てモーターを動力源として走行する。
AI	Artificial intelligence の略称で、人工知能のこと。人間の知的ふるまいの一部をソフトウェアを用いて人工的に再現したもの。
ALT	Assistant language Teacher の略称で、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと。小中学校に英語発音や国際理解教育のため配置される。
SNS	Social Networking Service の略称。インターネット上の交流を通じて社会的ネットワークを構築するサービス。
LGBTQ	レズビアン（女性同性愛者）ゲイ（男性同性愛者）バイセクシュアル（両性愛者）トランスジェンダー（心と体の性が一致していない方）に加えて、自分の性がわからないという「クエスチョニング」と性的少数者を表す「クィア」のQを加えた、セクシュアルマイノリティ全般を表す言葉。※関連項目「セクシュアルマイノリティ」。
か行	
過疎地域	地域の人口が減少し、暮らす人の生活水準や生産機能の維持が困難な状態となった地域。
過疎対策事業債	過疎地域と告示された市町村が、過疎地域持続的発展計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方債。
関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す。
GIGA スクール構想	1人1台の端末と高速通信環境を一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、資質・能力が確実に育成できる教育ICT環境を実現する文部科学省が推進する施策。
キャッシュレス決済	紙幣や硬貨を使わない決済方法のこと。大きく分けると①クレジットカードなどの後払い（ポストペイ）、②あらかじめ入金する前払い（プリペイド）、③デビットカードやQRコードなどで預金口座から直接引き落とす即時払い（リアルタイムペイ）などがある。
グローバル・パートナーシップ	地球規模の協力関係。世界平和・環境問題など世界的問題の解決のため提携すること。
ゲートキーパー	「門番」という意味。自殺対策におけるゲートキーパーは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。

合計特殊出生率	一人の女性が生涯何人の子どもを産むのかを表す指数。
交流人口	通勤・通学者や観光客など、その地域を訪れる人の数。
コミュニティ	住民が自主性と責任に基づいて、帰属意識や住民相互に連帯意識が見られる生活共同体。
コミュニティスクール	学校、保護者及び地域がともに意見を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、地域で育てたい子どもの姿を共有し、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組む仕組み。
コミュニティソーシャルワーカー	地域内で困りごとを抱えた人を支援するために、地域の人材や制度、サービス、住民の援助などを組み合わせたり、新しい仕組みづくりのための調整などを行う役割を担う人。
さ行	
財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。
サテライトオフィス	企業の本社や主要拠点から離れた場所に設置されるオフィスのことを指す。本社を中心にして、衛星（＝サテライト）のように配置されることから生まれた言葉。
市街化区域	すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
ジェンダー	生物学的な性別（sex）に対して、社会的・文化的につくられる性別のことを指す。
自治体 DX	DXは「Digital Transformation：デジタルトランスフォーメーション」の略称。デジタル技術を活用して行政サービスを変革すること。
シビックプライド	住民の地域への誇りや愛着のこと。
社会増減	一定期間における転入者数から転出者数を差し引いた人数の増減。プラスの場合を社会増、マイナスの場合を社会減という。
社会的孤立	家族や地域社会との関係が希薄で、他者との接触がほとんどない状態。単身世帯の増加、婚姻率の低下、若者の社会的自立の遅れ等が背景にある。
社会保障関係経費	医療や年金、介護、生活保護などの社会保障に関する経費。
重要業績評価指標（KPI）	KPIはKey Performance Indicatorsの略称。業績管理評価のための重要な指標。
循環型社会	大量生産、大量消費、大量廃棄の社会に代わるものとして提示された概念。製品等が廃棄物等となることを抑制し、次に排出された廃棄物等はできるだけ資源として適正に利用すること。
生涯学習	学習者の自由な意思に基づいて、それぞれにあった方法で生涯にわたって学習していくこと。
森林環境譲与税	適切な森林の整備等を進めるために、国から市町村や都道府県に対して国民から平等に集められた税金が譲与されるもの。令和元年度（2019年度）から譲与が開始された。
水源かん養	森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに川の流量を安定させる作用。
生活支援コーディネーター	地域で、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす人のこと。
セクシュアルマイノリティ	同性が好きな人や、自分の性に違和感を覚える人など、セクシュアリティ（性のあり方）において少数派とされる人々のこと。性的少数者、性的マイノリティともいわれる。※関連項目「LGBTQ」。

ゾーニング	都市計画などで、各地域を用途別に区分すること。
た行	
タウンミーティング	その地域の住民が集まり、地域の政策などを議論及び決定していくもの。
脱炭素社会	地球温暖化の原因となる、温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現する社会のこと。
地域おこし協力隊	2009 年度に総務省によってつくられた制度。主に都市圏に住む人たちの中から、各自治体が募集を募り「地域おこし協力隊員」として1年以上3年以下の委嘱をし、地域活性化活動などに従事する。
地域づくりコーディネーター	地域内外の組織や人材を繋ぎ合わせ、専門知識や技能を駆使して地域の課題解決や活性化を行う人材。
地方創生	東京一極集中を是正し、人口減少に歯止めをかけるため、地方での安定した雇用の創出や、若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえることなどにより、地域の活性化を目指すこと。
テレワーク	厚生労働省では「情報通信技術（ICT）を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」と定義。本拠地のオフィスから離れた場所で、ICTを活用し仕事を行うこと。
電子申請システム	行政機関等に対する申請・届出を、申請者がインターネット等の ICT を活用して行うためのシステム。
な行	
日本の棚田百選	多面的機能を有している棚田の保全や、保全のための整備活動を推進し、農業農村に対する理解を深めるため、農林水産省が全国の棚田を認定した。
ニュースポーツ	スポーツの原点である「楽しさの追求」を理念に掲げて考案され、柔軟性のある競技規則と適度な運動量を備え、年齢や性別によるハンディが少なく、特別なトレーニングをしなくても簡易な用具を使いプレイを楽しめるスポーツをいう。
ニューノーマル	社会に大きな変化が起こり、変化が起こる以前とは同じ姿に戻ることができず、新たな常識が定着することを指す。
は行	
ハラスメント	相手に対して言葉や行動などで嫌がらせを行うこと。
ヒアリング	（公的機関や会社が行う）意見の聴取と説明を兼ねた会議。公聴会。聴聞会。聞き取り調査。
フォーム	インターネットの分野では、パソコンの操作画面におけるユーザーからの入力を受け付ける部分を指す。
ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）	出身地や応援したい地方公共団体に寄附（ふるさと納税）をした場合、寄附額のうち 2,000 円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度。（一定の上限はある。）
分散型社会	人や資源が一部の都市に集中するのではなく、地方を含めてバランスよく分散している社会のこと。
ま行	
マイナンバー	日本国内に住民票を有する全ての方が一人につき1つ持つ12桁の番号のこと。外国籍でも住民票を有する方には住所地の市町村長から通知される。法令上では「個人番号」といい、「マイナンバー」は通称。
マイナンバーカード	マイナンバーが記載された顔写真付きのプラスチック製の IC カードのこと。申請により交付される。正式名称は「個人番号カード」。
ら行	
ライフステージ	人間の一生を段階的に区分したもの。一般的に、幼年期、少年期、青年期、壮年期、老年期に分けられる。

6次産業化	1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組み。
ローリング方式	現実と長期計画のずれを埋めるために、施策・事業の見直しや部分的な修正を、毎年度転がすように定期的に行っていく手法。
わ行	
ワークショップ	様々な立場の人が意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見などをまとめ上げていく手法。
ワークライフバランス	仕事（ワーク）と生活（ライフ）の調和。仕事と生活のどちらかを犠牲にするのではなく、両者の調和、ひいては両者の相乗効果を目指すもの。
ワーケーション	「ワーク（work）」と「バケーション（vacation）」を合わせた造語。「休暇中に仕事をする」あるいは「休暇を過ごす環境で仕事をする」ことを意味する。